

ATTENTION

長期投資の威力とはこういうものだ！

いい株を長く持っているとうなる

米国株	投資年	投資期間	元本上昇率 (円建て)	当初の 配当利回り	現在の 配当利回り
銘柄A	2010年	13年	3.4倍	5.2%	16.9%
銘柄B	2010年	13年	4.4倍	3.4%	11.3%
銘柄C	2010年	13年	4.5倍	2.8%	10.7%
銘柄D	2013年	10年	16.7倍	2.7%	7.7%
銘柄E	2008年	15年	20.3倍	0.6%	13.7%

ここにある銘柄はすべて誰もが知っている米国の代表的な銘柄です。これらは、私どものお客様が実際に持っている銘柄です。何もPRしたいために上げているわけではありません。長期投資をしていると、どういう効果を表すかを示すために上げています。ここにあげた銘柄の保有期間は、いずれも10年以上です。パフェットは「10年持つつもりがなければ、10分も持つな」といっていますが、まさに至言です。10年、20年と成長していく銘柄を選び、それを同じような時間軸で保有する。配当は増配が続く、当初の利回りはそこそこでも、いまとなっては、取得元本に対して10%を優に上回る利回りになっています。そして、いまも増配を続けているので、利回りはどんどん上がっていくでしょう。これからも、配当が増えるのが楽しみというものです。一方の株価。20倍にもなりますと、当初投資した時に100万円が10%上がると、10万円増えますが、20倍になり、そこで10%増えると、200万円増える。投資した額の2倍の利益がもらえるということになります。まさにこれが雪だるま効果です。そして今は円安。これも味方して、円換算でさらに膨らむ。こういうパフォーマンスは、短期投資では絶対にとれません。長期投資だからこそ、取れる成果です。「時間は価値」という言葉の重みをまさに感じます。

COLUMN

「立ち直る力」を獲得するには

日々様々なストレスにさらされる中、どうそれらを克服して、上のレベルに上っていくか。これは人生を歩んでいく上で非常に重要なテーマです。立ち直る力(Resilience)を養うにはどうしたらいいか。

まずは、困難を迎えたときにはいったん「立ち止まる」。深呼吸して気持ちを鎮める。そして「問いかける」。状況や目的をもう一度把握し、どう乗り切るか判断する。最後に「選択する」。方策を決め、実行する。冷静沈着に次のステップに進む。

復元力の強い人間は健康的な生活をしていて、困難に立ち向かった経験があり、楽観的で、柔軟性があり、人的つながりや高い目的意識があります。ストレスにどう対処するか。その臨み方で、結果は大きく変わります。ストレスにさらされ続けるのは、どんなに強い人間でも仕事や健康によくないので、いったん休むことが大事です。休む中でも、運動することは有効。運動は心身をリフレッシュして新たな活力を生みます。そして、否定的な考えを押しおき、前向きに取り組み、むずかしい局面でもチャンスを得る機会を探すのです。要は自分でコントロールできることに集中することなのです。

ストレスに押しつぶされそうになった時は、瞑想や深呼吸をするのもよい方法です。そして、いまある自分に感謝する。つらい時は近い人に話を聞いてもらい、自分が持っているものに目を向け、持っていないものには目を向けない。未来に目を向け、もっとよくなると信じる。これを繰り返すことで、立ち直る力は強くなります。

参考図書-Change Proof by Adam Markel, McGraw-Hill

MARKET

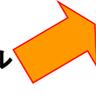
(6月末)

(5月末比)

日経平均

33,189.04円  +2,301.16円
(+7.45%)

NYダウ

34,407.60ドル  +1,499.33ドル
(+4.56%)

米ドル

144.35円  +5.00円
(+3.59%)

私の書棚より

福と智、二つながらの功德を積み、日常生活の上で受けている目に見える、また目に見えぬ諸々の恩に報じ、いろいろな人の助けをするならば、その人は自己の利益と他人の利益をともに積み重ねたことになり、その結果、仏の完全な知恵を身につけることができる。—空海『理趣経開題』(生死之河)

株は上がるが、日本の現状は以前と変わらず、問題山積

日本株が、バフェットの日本株積極買い発言で突然上がり始め、バブル後33年ぶりの高値更新と沸き返っています。周囲を見れば、変わったことと言えば、外国人観光客が増えたくらいで、他は全く変わっていません。今の状況は打ち上げ花火で、一時のものという危惧を覚えます。日本の問題は根が深いという感を禁じえません。それらの問題をここで洗い出してみましよう。

仕組債の販売で法令違反があったとして、千葉銀、ちばぎん証券、武蔵野銀行に金融庁から業務改善命令が出ましたが、これは氷山の一角、いわば見せしめです。あらゆる銀行、証券に広がっていると見ていて間違いありません。仕組債問題は20年以上前から指摘されながら、放置されていたのです。まさにもぐらたたきといちごっこ。仕組債を組成しておいしい汁を吸う外資には踏み込めず、聖域となっています。「顧客本位の業務運営」は名ばかり。最近では、前金融庁長官が民間生保に天下り。「これじゃだめだ」。行政監督の公正・中立性が疑われます。

一方、株の持ち合いは続き、買収防衛策を次々に打ち出し、身内優先の構図となっています。外部の監視が届かないので、談合、不正が連続と続き、規律の緩みは目を覆うばかりです。また企業にはお上にお伺いを立てる意識が強く、経営者は矮小化しています。また役人には「我々が口を出さないとだめ」というお上意識が根付き、民間の「自由闊達な精神」などと言うものは昔の言葉のようにになっている状態です。

国を守るための防衛費まで「つなぎ国債で」と政治家が言い出す始末で、財政悪化は止めを知らず、国の借金は膨らむばかりです。また痛みを伴う構造改革、既得権益の打破は先送り。「臭いものにはふたをしておけ」という空気がまん延しているように感じます。

人口減少は数十年前からわかっていたことですが、実効性ある政策は打ち出さず、ほったらかし。政治家はいまになってあわてて「子ども手当」「授業料無償化」など票目当てのばらまきで、絆創膏貼りに勤しんでいます。人口減少を防ぐには、外国人の移民に頼らざるを得ない中で、難民受け入れはほぼ閉ざしています。若者は海外に打って出る意欲はなく、現状に満足。最近の円の独歩安も、長期の円安トレンドの始まりかもしれません。日本の現状は、複合、複層的に問題が山積みで、にっちもさっちもいかない状況になっています。

私は、このニュースレターで「日本の戦後経済を読み解き、未来の処方箋を書く」と題しまして、以下のバックナンバーに記しています。ぜひお読みください！特にno.144には、坂本龍馬の「船中八策」に題名を借りて、「現代版船中八策」を提示しています。

[no142news-letter.pdf \(bfsc.jp\)](http://www.bfsc.jp/no142news-letter.pdf)

[no143news-letter.pdf \(bfsc.jp\)](http://www.bfsc.jp/no143news-letter.pdf)

[no144news-letter.pdf \(bfsc.jp\)](http://www.bfsc.jp/no144news-letter.pdf)

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に勧めるのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者 (RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp